

## 指定管理者評価シート

事業名	ジャンプ競技場等運営管理	所管課(電話番号)	スポーツ局スポーツ部施設課(211-3045)
-----	--------------	-----------	-------------------------

### I 基本情報

1 施設の概要			
名称	札幌市大倉山ジャンプ競技場	所在地	中央区宮の森
開設時期	昭和45年12月(平成11年12月改修)	延床面積	8658.19㎡
目的	ジャンプ競技に対する市民の理解を深め、ジャンプ競技の普及振興及び競技力の向上を図る		
事業概要	ジャンプ競技の場の提供		
主要施設	ラージヒルジャンプ台、運営本部棟、ミュージアム棟、スタートハウス棟、エスカレーター棟、審判棟		
名称	札幌市宮の森ジャンプ競技場	所在地	中央区宮の森1条18丁目
開設時期	昭和45年12月(平成17年改修)	延床面積	664.31㎡
目的	ジャンプ競技に対する市民の理解を深め、ジャンプ競技の普及振興及び競技力の向上を図る		
事業概要	ジャンプ競技の場の提供		
主要施設	ノーマルヒルジャンプ台、特殊索道、運営本部		
名称	札幌市荒井山ジャンツェ	所在地	中央区宮の森
開設時期	平成15年11月	延床面積	254.78㎡
目的	ジャンプ競技に対する市民の理解を深めるとともに、ジャンプ競技の普及振興及び競技力の向上を図る		
事業概要	ジャンプ競技の場の提供		
主要施設	ミディウムヒルジャンプ台、スモールヒルジャンプ台、スロープカー、ロッジ、審判棟、スロープカー車庫		
名称	札幌オリンピックミュージアム	所在地	中央区宮の森
開設時期	平成12年4月	延床面積	5034.43㎡
目的	オリンピック及びパラリンピックの歴史と価値並びに冬季オリンピック開催都市としての栄誉と功績を後世に継承するとともに、広くウィンタースポーツに関する興味と理解を深める機会を提供し、もってオリンピック及びパラリンピックの理念を広く伝えるとともに、ウィンタースポーツの普及振興に寄与する		
事業概要	(1)オリンピック及びパラリンピック、冬季オリンピック札幌大会等本市で開催されたウィンタースポーツの国際大会並びにウィンタースポーツに関する資料の収集、保管及び展示 (2)オリンピック及びパラリンピック並びにウィンタースポーツに関する資料の収集、保管及び展示 (3)ウィンタースポーツの疑似体験装置の展示 (4)その他ミュージアムの設置目的を達成するために必要な事業		
主要施設	展示ゾーン、体感・体験ゾーン、競技情報ゾーン、ウィンタースポーツシアター、多目的ホール、ライブラリー		

2 指定管理者	
名称	株式会社 札幌振興公社
指定期間	令和5年4月1日～令和10年3月31日
募集方法	<p>非公募</p> <p>ジャンプ競技場等の指定管理者は、各ジャンプ競技場における選手の安全な協議環境を確保するため、特に高度な技術が求められる助走路やランディングバーンを含む施設の管理運営のほか、国際競技力の向上、スポーツ医・科学及びスポーツ情報に関する研究などの取組を行うナショナルトレーニングセンター競技別強化拠点施設としての運営、さらにミュージアムにおけるオリンピック・パラリンピック教育を推進していく役割を担う。</p> <p>そのため、指定管理者には、施設の管理運営やオリンピック・パラリンピック教育の推進に係る長期的な視野に立った継続的な事業運営や人材育成、ノウハウの蓄積が特に必要とされる(ガイドライン非公募区分1(2))。また、大倉山ジャンプ競技場において、トレーニング環境の確保や円滑な大会運営、観光利用として必要不可欠であるリフトを札幌振興公社が所有しているほか、ミュージアムにおいては、隣接している同社所有の施設(札幌オリンピックミュージアム・アネックス)が別館として管理運営され、ミュージアムと一体的な関係性にあり、団体と施設の関係が密接不可分にある場合など、特定団体が管理運営することが妥当と認められる(非公募区分1(3))。以上のことから、既に良好な管理運営実績を有する同社を指定管理者として非公募で選定したもの。</p>
指定単位	<p>施設数:4</p> <p>複数施設を一括指定の場合、その理由:ジャンプ場は競技ランク(ラージ、ノーマルなど)別に整備しているが、利用調整などは一体で行う必要がある。また、ミュージアムについては大倉山再整備計画により建設された関連施設であり、利用のされ方なども一体不可分の要素が高い。</p>
業務の範囲	<p>【ジャンプ競技場】</p> <p>(1)施設の維持及び管理</p> <p>(2)施設を使用に供すること</p> <p>(3)ジャンプ場条例第1条に規定する設置の目的を達成するために必要な事業</p> <p>(4)使用承認等に関すること</p> <p>(5)大型映像車の運行に関すること</p> <p>(6)上記各業務に付随する業務</p> <p>【ミュージアム】</p> <p>(1)施設の維持及び管理</p> <p>(2)ミュージアム条例第2条各号に掲げる事業の計画及び実施</p> <p>(3)ミュージアム条例第13条に掲げる資料の貸出し</p> <p>(4)使用承認等に関すること</p> <p>(5)上記各業務に付随する業務</p>
3 評価単位	<p>施設数:4</p> <p>複数施設を一括評価の場合、その理由:同一の管理主体が管理を行っており、ひとつの基準で管理を行っているため</p>

## Ⅱ 令和5年度管理業務等の検証

項 目	実施状況	指定管理者 の自己評価	所管局の評価																	
1 業務の要求水準達成度																				
(1)統括管理 業務	▽ 管理運営に係る基本方針の策定 札幌市ジャンプ競技場等の設置目的、目指す成果を踏まえ、また平成18年から10年を超える指定管理者としての経験を活かし、管理運営業務に関する基本方針を策定した。	管理方針に基づき、ジャンプ競技への関心及び競技力の向上やウィンタースポーツの普及と振興に努めた。	A B C D 管理運営方針に基づいて業務を適正に遂行している。 来場者数の増加や少雪の影響による人工降雪機の稼働増などにより水道・ガソリン・軽油使用量は増加したが、その他の項目は環境配慮について継続して取り組んでおり、評価できる。																	
	▽ 平等利用に係る方針等の策定と取組実績 仕様書に基づき施設等の利用に関する業務については、庶務係を窓口として適正かつ平等に遂行した。																			
	▽ 地球温暖化対策及び環境配慮の推進 平成19年5月にHES(北海道環境マネジメントシステムスタンダード)を認証し、当社で管理する施設や様々なサービス等から発生する環境に関わる影響を低減するため継続して環境改善活動に取り組んでいる。	R5年度は、電気使用量は一部でLED化を実施したこともあり、使用量は減少した。水使用量については、来場者の増加や猛暑によりトイレの利用が増えたことなどから増加した。燃料については少雪の影響による人工降雪機の稼働増などにより増加した。紙使用量は、電子化や書類等の簡略化に努めることで削減することができた。今後も目標達成に向け各社員が環境への配慮を意識して取り組継続して取り組み削減に努めていきたい。																		
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>項 目</th><th>R4実績</th><th>R5実績</th><th>前年対比 削減率</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>電気使用量の削減</td><td>1,256,454</td><td>1,172,028</td><td>93.3% △ 6.7%</td></tr> <tr> <td>水使用量の削減</td><td>15,381</td><td>16,571</td><td>107.7% 7.7%</td></tr> <tr> <td>ガソリン・軽油使用量の削減</td><td>3,939</td><td>5,411</td><td>137.4% 37.4%</td></tr> <tr> <td>事務用紙使用量の削減</td><td>125,000</td><td>107,500</td><td>86.0% △ 14.0%</td></tr> </tbody> </table>			項 目	R4実績	R5実績	前年対比 削減率	電気使用量の削減	1,256,454	1,172,028	93.3% △ 6.7%	水使用量の削減	15,381	16,571	107.7% 7.7%	ガソリン・軽油使用量の削減	3,939	5,411	137.4% 37.4%	事務用紙使用量の削減
項 目	R4実績	R5実績	前年対比 削減率																	
電気使用量の削減	1,256,454	1,172,028	93.3% △ 6.7%																	
水使用量の削減	15,381	16,571	107.7% 7.7%																	
ガソリン・軽油使用量の削減	3,939	5,411	137.4% 37.4%																	
事務用紙使用量の削減	125,000	107,500	86.0% △ 14.0%																	
	▽ 管理運営組織の確立(責任者の配置、組織整備、従事者の確保・配置、人材育成) 統括責任者を事業部長と定め、管理運営業務を統括し業務の適正・効率化を図った。 計画書に基づいた人員配置に努め、欠員が生じた場合は新規採用により人員を確保した。 教育・研修計画に基づき研修等を実施した。 AED取扱いを含めた普通救命講習を実施し救急事態での対応に備えた。	計画に沿った組織体制を整えられるよう、欠員等が生じた場合は人事異動や新規採用により適正な社員配置に努めた。また、法令を遵守しよりよい雇用環境を確保した。	職員配置についても計画書に基づいた人員配置を行っており、研修等を実施することでサービス水準の維持向上に努めていると言える。																	
	▽ 管理水準の維持向上に向けた取組 職場ミーティングを適宜行い、業務の問題点や改善・サービスの向上等について意識の統一や情報の共有に努めた。	今後も社員全員で更なるサービス向上を目指し、ミーティング等の中で問題の改善に努めていきたい。																		
	▽ 第三者に対する委託業務等の管理(業務の適正確保、受託者への適切監督、履行確認) 軽微なものを除き計画に基づき適正な業務委託を行った。 また、委託先への適切な指示、連絡等により、仕様書に基づいて適正かつ確実に業務が遂行された。	業務計画に沿って適正な再委託を行った。																		

	▽ 札幌市及び関係機関との連絡調整（運営協議会等の開催）	<table><tr><th>開催日</th><th>協議・報告内容</th></tr><tr><td>5/11</td><td>荒井山ジャンプ利用者連絡協議会 令和5年度の活動計画 要望事項</td></tr><tr><td colspan="2">&lt;協議会メンバー&gt; 札幌市スポーツ部、札幌スキー連盟理事、 札幌ジャンプ少年団役員、大倉山事業部担当者</td></tr><tr><td>7/21</td><td>第1回札幌市ジャンプ競技場等運営協議会 議題：4月～6月までの業務報告など （施設利用状況等について）</td></tr><tr><td>10/16</td><td>第2回札幌市ジャンプ競技場等運営協議会 議題：7月～9月までの業務報告など （施設利用状況等について）</td></tr><tr><td>1/29</td><td>第3回札幌市ジャンプ競技場等運営協議会 議題：10月～12月までの業務報告など （施設利用状況等について）</td></tr><tr><td colspan="2">&lt;協議会メンバー&gt; 札幌市スポーツ部、札幌スキー連盟理事、地元自治会長他 有識者数名、大倉山事業部担当者</td></tr></table>	開催日	協議・報告内容	5/11	荒井山ジャンプ利用者連絡協議会 令和5年度の活動計画 要望事項	<協議会メンバー> 札幌市スポーツ部、札幌スキー連盟理事、 札幌ジャンプ少年団役員、大倉山事業部担当者		7/21	第1回札幌市ジャンプ競技場等運営協議会 議題：4月～6月までの業務報告など （施設利用状況等について）	10/16	第2回札幌市ジャンプ競技場等運営協議会 議題：7月～9月までの業務報告など （施設利用状況等について）	1/29	第3回札幌市ジャンプ競技場等運営協議会 議題：10月～12月までの業務報告など （施設利用状況等について）	<協議会メンバー> 札幌市スポーツ部、札幌スキー連盟理事、地元自治会長他 有識者数名、大倉山事業部担当者		協議会開催計画に基づき行い、情報の共有や問題の改善に積極的に取り組んだ。 次年度以降も関係機関と連携を図り、円滑な運営に努めていきたい。	札幌市や関係団体との協議を定期的に実施し、問題点の共有、改善に向けて努力している。 特に、利用者の代表となる競技団体との調整は重要であるが、適切に対応を行っている。
	開催日	協議・報告内容																
	5/11	荒井山ジャンプ利用者連絡協議会 令和5年度の活動計画 要望事項																
	<協議会メンバー> 札幌市スポーツ部、札幌スキー連盟理事、 札幌ジャンプ少年団役員、大倉山事業部担当者																	
	7/21	第1回札幌市ジャンプ競技場等運営協議会 議題：4月～6月までの業務報告など （施設利用状況等について）																
10/16	第2回札幌市ジャンプ競技場等運営協議会 議題：7月～9月までの業務報告など （施設利用状況等について）																	
1/29	第3回札幌市ジャンプ競技場等運営協議会 議題：10月～12月までの業務報告など （施設利用状況等について）																	
<協議会メンバー> 札幌市スポーツ部、札幌スキー連盟理事、地元自治会長他 有識者数名、大倉山事業部担当者																		
▽ 財務（資金管理、現金の適正管理）  指定管理業務と他事業の経費を明確に区別し、社内外からの監査を受け適正に管理している。 現金管理責任者を定め管理チャートに基づいた、取扱い・保管を行い、適正に現金・金券等を管理している。	適正かつ明確に資金や現金管理の徹底に努めた。																	
▽ 要望・苦情対応  利用者、その他市民からの意見、要望を受けた場合は誠意をもって対応している。 指定管理業務と関わりのない市政に関する要望等については、札幌市へ速やかに報告している。	お客様からの意見・要望については、可能な限り対応しサービス向上に反映した。																	
▽ 記録・モニタリング・報告・評価（記録、セルフモニタリングの実施、事業報告、札幌市の検査等への対応、自己評価の実施） アンケートの結果を受けて、意見や要望を検証し、管理運営の改善に反映させている。 ジャンプ競技関係先からの要望や意見を受けて、対応するように努めた。 札幌市の検査依頼、報告事項等については、速やかに対応した。	過年度の事象の実施状況や経緯・経過を分析・検証するなどして、的確・迅速な対応に努めた。																	
(2)労働関係法令遵守、雇用環境維持向上	▽ 労働関係法令遵守、雇用環境維持向上  就業規則、勤務時間を順守し、時間外労働にあたっては36協定での取決めを定め届出をした。 雇用にあたっては社会保険、労働保険への加入を行い必要に応じ届出をした。 全ての社員に対し1年に1回の定期健康診断の受診を実施した。 なお、労働基準監督署からの指導等は受けていない。	適切な労務管理に努めた。	<table><tr><td>A</td><td>B</td><td>C</td><td>D</td></tr><tr><td colspan="4">法令を遵守し、雇用環境の維持向上に努めていると評価できる。</td></tr></table>	A	B	C	D	法令を遵守し、雇用環境の維持向上に努めていると評価できる。										
A	B	C	D															
法令を遵守し、雇用環境の維持向上に努めていると評価できる。																		

(3)施設・設備等の維持管理業務	▽ 総括的事項(利用者の安全確保、市民サービス向上への配慮、連絡体制確保、保険加入)	計画に沿った管理運営の中で、個人情報保護や管理施設にAEDを設置するなど、今後も引き続き安心・安全な施設運営体制を構築していきたい。	A	B	C	D	
	利用者の安全確保については、施設の巡回警備による安全確認や職員の巡回により危険箇所の早期発見に努めた。 施設賠償保険の他、各種イベント時は参加者等の万が一の怪我、事故に備え別途傷害保険に加入している。 また、事故や急病人の発生に備えて、各施設(4施設)に設置したAEDの点検等を行った。AED講習はR4年度迄新型コロナウイルス感染症拡大の為実施しなかったが、R5年度より実施を再開した。 平成17年6月に定めた「個人情報の保護に関する方針」に基づき、細心の注意を払って、保有する個人情報の保護に努めた。 拾得物等の取扱いについては、適正に対処した。 連絡体制の確保については、各施設へ必要な連絡先を掲示した。 また、緊急時連絡先を事業部内に掲示し緊急時に備えた。		計画に沿い、適正な施設の維持管理を行い、利用者の安全管理にも十分配慮している。 また、防災や危機管理対策についても、緊急時への備えを整え、災害等を想定した訓練についても適切に行っている。				
	▽ 施設・設備等の維持管理(清掃、警備、保守点検、修繕、備品管理、駐車場管理、緑地管理等)	業務計画書に沿った適正な施設・設備の維持管理に努めた。次年度以降も継続して関係各所と連携の下、業務を遂行していきたい。					
	▽ 防災	今後も防災計画に基づき安全・危機管理対策に努めていきたい。また、社員の更なる防災意識を高めるような訓練を実施していきたい。					



(4)事業の計画・実施業務	▽ オリンピックパラリンピック及びウィンタースポーツの普及振興、調査研究に関する業務	R5年度は、概ね業務計画に沿った活動を行うことができた。	A	B	C	D
	<p>①自主研修の場の提供(292校来場)</p> <p>②教育普及活動(特別展示2回、イベント7回)</p> <p>③実習の受入れ(0校)</p> <p>学生より問い合わせはあったものの、その後の申し込みがなかったため、今年度の実施はなかった。</p> <p>④常設展示</p> <p>2階パノラマシアター前スペースに東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会常設展示を設置、2階特別展示室宮様スキー大会優勝者名簿を更新、2階メダリスト用具コーナーにリレハンメル1994ノルディック複合団体出場選手3名及び長野1998スキージャンプラージヒル団体出場選手4名の手形を追加、1階バイアスロン最新用具紹介コーナーを北京2022日本代表監督の着用ウェア、ヘッドバンド、グローブに更新、2階ビジュアルヒストリー、パラリンピックコーナー壁面及び柱の記載内容を北京2022後の最新情報に更新。</p> <p>⑤校外学習(小学校66校、中学校7校、高等学校2校、大学6校、特別支援学校関係1校を実施)</p> <p>⑥オリンピック・パラリンピック教育</p> <p>札幌市教育委員会のオリ・パラ教育推進事業の研究校に指定された63校(昨年度68校)を対象に実施した。実施にあたっては、ミュージアムの学芸員を中心に阿部館長や北海道オールオリンピックアンズから紹介を受けてオリンピック・パラリンピアンに講師を依頼し、各講演内容について個別に調整を行うことで、競技種別ごとの特長等を活かした授業となるよう努めた。</p> <p>また、各学校とは児童の学年や地域等によって授業内容を事前に教諭と調整し、児童の興味を湧かせながらより理解を深める授業になるよう努めた。</p> <p>学校とミュージアムをオンラインで繋いだオリパラ教育は1回実施した。</p> <p>⑦収蔵品データベース化</p> <p>展示物・収蔵品の調査データを268件追加登録。(現在15,494件を登録)</p> <p>⑧収蔵品の収集・調査・研究・展示</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・冬季オリンピック札幌大会関連資料の収集および調査・研究・展示</li><li>・寄贈された資料の調査研究(新田進氏、横山秀子氏等)</li><li>・オリンピック・パラリンピアンの用具収集・展示(能登直氏、伊藤有希氏ほか)</li></ul> <p>⑨館内イベント</p> <p>1894年6月23日のIOC創立を記念して世界中で行われる「オリンピック・デー」イベントとして、ジュニア・ユース世代のアスリートの育成を目的としたパフォーマンス向上講習会を実施した。</p> <p>⑩OMN総会出席</p> <p>9月にOMN総会がハイブリッド開催され、コロナウィルス感染症による海外渡航の先行きが不透明であったことから、昨年に引き続きオンライン出席により、当館の現状と情報交換を行った。</p> <p>⑪第46回JOAセッションへの参加</p> <p>パリ2024大会の取り組みを通して、スポーツミュージアム同士の連携や各大学の教授、研究者、オリンピック関係者らと知識向上のための意見交換を密にし、オリンピックの価値・魅力を再確認することで、今後のオリンピック・パラリンピック及びスポーツにどのようにかわっていくのかを考えつつ、レガシーを継承する場としてスポーツミュージアムの可能性を論議した。</p> <p>※調査研究に関する内容については、別紙2のとおり</p>	<p>1月～3月に開催した特別展示会では、約1年前に目覚ましい活躍で日本中が熱狂した侍ジャパンを取り上げ、ウィンタースポーツ以外の新たな層への需要喚起を行った。</p> <p>また、継続して実施しているゴールデンウィークイベントやノルディックウォーキングイベントでの参加者も堅調であった。</p> <p>他施設との連携事業の一環として、出張ミュージアム及び物品の貸出しを積極的に実施した。市民のウィンタースポーツ及びパラスポーツに対する意識の向上、普及や地域貢献に寄与し、ミュージアムを広く周知することに繋がった。</p> <p>H29年度から継続しているオリパラ教育は天候の影響や学校事情等による日程変更に対応し、希望する学校に対して概ね計画どおり実施することができ、63校の学校が当該事業に参加した。今年度から札幌市・札幌市から委託を受けた北海道オールオリンピックアンズ・当館の3者で2カ月に1回程度情報共有の場を設けたことにより、迅速な課題解決を行い、より充実した事業運営ができた。この取り組みは次年度も継続する予定である。オンラインによるオリパラ教育は1校のみの実施となったが、次年度においてもオリパラ教育の更なる展開を見据えて、円滑な運用のための試行を継続して行いたい。</p>	<p>札幌オリンピックミュージアムを運営する中で、来館者へのオリンピックの理念を伝えたほか、令和2年から設置している北海道オール・オリンピックアンズの拠点を活かし、来館者とオリンピック・パラリンピアンが交流できる体制を整えている。ウィンタースポーツの普及振興だけでなく、収蔵品の調査・研究等にも積極的に取り組んでいる。</p> <p>また、オリ・パラ教育では、授業内容を最適化するため、講師や学校と事前に調整を行うほか、オンラインでの授業を行い、学習効果の向上や運用改善に努めている。このほか、OMN加盟を機に、総会及びワークショップに参加し、海外のミュージアムにも活動内容を伝え、評価を得ている。今後もオリ・パラ教育の拡大や収蔵品の調査・研究等、更なるオリンピックパラリンピック及びウィンタースポーツの普及振興事業の実施に期待する。</p>			

	<p>▽ その他ジャンプ競技場等の設置目的を達成するために必要な業務</p> <p>競技関係者や地域住民と連携を図り、市民参加型のイベントの実施やサービスに努めた。</p> <p>また、イベント・会議・展示会場として、競技場施設やミュージアム、大型映像車の利用についてHP等への掲載等を行った他、地域町内会等へも周知し利用促進に努めた。</p> <p>文科省より受託しているナショナルトレーニングセンター競技別強化拠点施設活用事業(NTC)では、NTC施設として競技団体の要望を取り入れ環境の整備に努めた。</p>	<p>ジャンプ競技の普及や向上、施設への来場促進に努めた。</p> <p>NTC事業においても関係団体と連携を図り、トレーニング環境、情報医科学環境を構築し、競技力の向上に向けて業務を遂行していききたい。</p>	<p>個別の利用者や競技団体のトレーニング環境としての受け入れに加え、NTC事業についても、競技団体と連携を取りながら、ジャンプ競技場の拠点施設として取り組みを継続している。</p>																																																																																																				
(5)施設利用に関する業務	<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th><th>R4決算</th><th>R5計画</th><th>R5決算</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="4"><b>大倉山ジャンプ競技場</b></td></tr> <tr> <td>競技利用者</td><td>1,269</td><td>1,200</td><td>1,155</td></tr> <tr> <td>競技利用回数</td><td>75</td><td>47</td><td>49</td></tr> <tr> <td>大会・公式</td><td>19</td><td>15</td><td>21</td></tr> <tr> <td>その他催物</td><td>7</td><td>10</td><td>5</td></tr> <tr> <td>本部棟会議室</td><td>35</td><td>29</td><td>43</td></tr> <tr> <td>テレビ中継装置</td><td>11</td><td>9</td><td>11</td></tr> <tr> <td>来場者</td><td>272,929</td><td>427,000</td><td>296,749</td></tr> <tr> <td colspan="4"><b>宮の森ジャンプ競技場</b></td></tr> <tr> <td>競技利用者</td><td>2,484</td><td>3,000</td><td>2,713</td></tr> <tr> <td>競技利用回数</td><td>131</td><td>119</td><td>152</td></tr> <tr> <td>大会・公式</td><td>9</td><td>6</td><td>8</td></tr> <tr> <td>来場者</td><td>11,423</td><td>30,000</td><td>11,260</td></tr> <tr> <td colspan="4"><b>荒井山シャンツェ</b></td></tr> <tr> <td>競技利用者</td><td>2,083</td><td>2,800</td><td>1,886</td></tr> <tr> <td colspan="4"><b>オリンピックミュージアム</b></td></tr> <tr> <td>有料観覧者</td><td>62,038</td><td>84,915</td><td>83,626</td></tr> <tr> <td>無料観覧者</td><td>27,423</td><td>30,300</td><td>31,241</td></tr> <tr> <td>観覧者合計</td><td>89,461</td><td>115,215</td><td>114,867</td></tr> <tr> <td>多目的ホール</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td></tr> <tr> <td colspan="4"><b>大型映像車</b></td></tr> <tr> <td>利用回数</td><td>29</td><td>28</td><td>25</td></tr> </tbody> </table> <p>▽ 不承認0件、取消し0件、減免36件、還付0件</p> <p>施設の利用に関する業務については、庶務係を窓口として適正かつ平等に遂行した。</p> <p>また、施設利用の申し込み者が重複した場合の平等性を保つための調整会議メンバーを定めた。</p> <p>※ジャンプ競技場等の利用状況等については、別紙3のとおり</p> <p>▽ 利用促進の取組</p> <p>イベント・会議・展示会場として競技場施設やミュージアム、大型映像車の利用についてHP掲載や地域町内会等への案内等を行った。</p> <p>自主事業として6月～10月の毎週金・土・日曜日はジャンプ練習での使用におけるジャンプ台使用料を無料とし、競技利用者(選手)のトレーニング促進に努めた。</p>	区分	R4決算	R5計画	R5決算	<b>大倉山ジャンプ競技場</b>				競技利用者	1,269	1,200	1,155	競技利用回数	75	47	49	大会・公式	19	15	21	その他催物	7	10	5	本部棟会議室	35	29	43	テレビ中継装置	11	9	11	来場者	272,929	427,000	296,749	<b>宮の森ジャンプ競技場</b>				競技利用者	2,484	3,000	2,713	競技利用回数	131	119	152	大会・公式	9	6	8	来場者	11,423	30,000	11,260	<b>荒井山シャンツェ</b>				競技利用者	2,083	2,800	1,886	<b>オリンピックミュージアム</b>				有料観覧者	62,038	84,915	83,626	無料観覧者	27,423	30,300	31,241	観覧者合計	89,461	115,215	114,867	多目的ホール	0	0	0	<b>大型映像車</b>				利用回数	29	28	25	<p>R5年度は新型コロナウイルス感染症が感染症法上の5類に移行され、国内外問わず旅行需要が回復したためR4年度に比べて来場者が増加した。</p> <p>ジャンプ台利用者については9月から10月にかけて、大倉山ジャンプ競技場でアプローチ階段増設工事が行われたこともあり、大倉山で練習できない期間があったため、大倉山の利用者が減少し、宮の森の利用者が増加した。</p> <p>ミュージアム利用者はR4年度に11/19～3/25まで特定天井改修工事のため休館していたことにより、その分観覧者は増加した結果となった。</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>A</th><th>B</th><th>C</th><th>D</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="4"> <p>競技利用者数については、大倉山ジャンプ競技場の工事休場等の影響により、令和4年度より減少している。</p> <p>大倉山ジャンプ競技場の来場者数については、新型コロナウイルス感染症の収束に伴う旅行需要の回復等により、令和4年度に比べ大きく増加したが、コロナ禍前の状況までの回復は出ていない。</p> <p>オリンピックミュージアムについては、コロナの収束に伴い観覧者数は大幅に改善してきている。</p> <p>展望台の夜間営業などを継続して実施することにより、大倉山ジャンプ競技場の来場者数の改善が図られることを期待する。</p> </td></tr> </tbody> </table>	A	B	C	D	<p>競技利用者数については、大倉山ジャンプ競技場の工事休場等の影響により、令和4年度より減少している。</p> <p>大倉山ジャンプ競技場の来場者数については、新型コロナウイルス感染症の収束に伴う旅行需要の回復等により、令和4年度に比べ大きく増加したが、コロナ禍前の状況までの回復は出ていない。</p> <p>オリンピックミュージアムについては、コロナの収束に伴い観覧者数は大幅に改善してきている。</p> <p>展望台の夜間営業などを継続して実施することにより、大倉山ジャンプ競技場の来場者数の改善が図られることを期待する。</p>			
区分	R4決算	R5計画	R5決算																																																																																																				
<b>大倉山ジャンプ競技場</b>																																																																																																							
競技利用者	1,269	1,200	1,155																																																																																																				
競技利用回数	75	47	49																																																																																																				
大会・公式	19	15	21																																																																																																				
その他催物	7	10	5																																																																																																				
本部棟会議室	35	29	43																																																																																																				
テレビ中継装置	11	9	11																																																																																																				
来場者	272,929	427,000	296,749																																																																																																				
<b>宮の森ジャンプ競技場</b>																																																																																																							
競技利用者	2,484	3,000	2,713																																																																																																				
競技利用回数	131	119	152																																																																																																				
大会・公式	9	6	8																																																																																																				
来場者	11,423	30,000	11,260																																																																																																				
<b>荒井山シャンツェ</b>																																																																																																							
競技利用者	2,083	2,800	1,886																																																																																																				
<b>オリンピックミュージアム</b>																																																																																																							
有料観覧者	62,038	84,915	83,626																																																																																																				
無料観覧者	27,423	30,300	31,241																																																																																																				
観覧者合計	89,461	115,215	114,867																																																																																																				
多目的ホール	0	0	0																																																																																																				
<b>大型映像車</b>																																																																																																							
利用回数	29	28	25																																																																																																				
A	B	C	D																																																																																																				
<p>競技利用者数については、大倉山ジャンプ競技場の工事休場等の影響により、令和4年度より減少している。</p> <p>大倉山ジャンプ競技場の来場者数については、新型コロナウイルス感染症の収束に伴う旅行需要の回復等により、令和4年度に比べ大きく増加したが、コロナ禍前の状況までの回復は出ていない。</p> <p>オリンピックミュージアムについては、コロナの収束に伴い観覧者数は大幅に改善してきている。</p> <p>展望台の夜間営業などを継続して実施することにより、大倉山ジャンプ競技場の来場者数の改善が図られることを期待する。</p>																																																																																																							

(6)付随業務	▽ 広報業務	HPに加えてSNSでも運行情報を発信することで利便性を高めることができた。また、SNS上でタイムリーな情報発信を行うことでフォロワー数や閲覧数を増やすことができた。今後は旅行需要の回復に合わせて広告宣伝やインバウンド向けのPRも行い、引き続きホテルや周辺町内会と連携しながら広報業務に努めていきたい。	A	B	C	D
	▽ 引継ぎ業務					
前回から継続指定のため、引継ぎ業務はなし。						
2 自主事業その他						
▽ 自主事業	ジャンプ競技場、ミュージアムの活用	昨年度より開催されたスポフェスは大好評だったため、今年度は3日間の開催となった。3日間ともに家族連れをはじめ多くの来場者があり、施設とスポーツの魅力を感じてもらうことができた。また自主事業では、今年度より大倉山冬花火が開催された。今後も大倉山のジャンプ競技場と観光施設両方の魅力を活かしたイベント等の自主事業を実施していきたい。	A	B	C	D
	○展望台リフト特別夜間営業の継続実施 日本新三大夜景及び日本夜景遺産に選ばれた大倉山からの夜景を楽しんでもらうべく、夏期営業期間における通年夜間営業(21:00まで)を今年度も実施した。 ・期間:令和5年7月1日(土)～令和5年9月30日(土) ・利用者数:6,826名(期間合計)  ○ビックラ！！スポフェス in 大倉山 野球・サッカー・バスケットボールなどの各種体験教室のほか、AR技術を利用した新しいボルダリング体験など様々なスポーツの体験イベントを実施した。 ・期間:令和5年10月7日(土)・8日(日)・9日(月)数:3,646人  ○大倉山冬花火 音楽と連動して冬空に幻想的なエンターテインメントを繰り広げるイベント。花火開始前は、札幌オリンピックミュージアムANNEXで北海道を拠点に活躍するNORDのメンバーとダンス&ボーカルグループ&DJユニット「ambitious」のステージイベントが開催された。 ・期間:令和5年12月9日(土) ・来場者数:1,163人  ※その他集客イベント等に係る内容については、別紙4のとおり	展望台リフトの夜間営業を引き続き実施するとともに、スポーツ体験イベントやスポーツパフォーマンス向上講習会を実施し、施設の魅力アピールやスポーツの普及振興に努めたものと評価できる。今後も大倉山のジャンプ競技場と観光施設両方の魅力を生かした自主事業を実施することに期待する。				
▽	市内企業等の活用、福祉施策への配慮等 再委託、物品の購入等については、市内の企業を原則として活用した。 また、警備係員として障がい者1名を雇用している。	特殊性等を考慮しながら、可能な範囲で市内企業の活用に努めた。				



### 3 利用者の満足度

▽ 利用者アンケートの結果		利用者からの意見等は全体で共有し、利用者のニーズの把握及び改善に努めた。今後も引き続き利用者からの意見を検証反映し、より良い施設運営を目指す。	A	B	C	D
実施方法	通年で山頂展望ラウンジとミュージアム1階・2階にアンケート用紙を設置し、利用者が任意で記入したものを回収。 回答者数:693名(展望ラウンジ/519名 ミュージアム/174名)		接客満足度、総合満足度とも、非常に高い水準であり、利用者への丁寧な対応の結果と評価できる。			
結果概要	<b>【年齢】</b> 10代(10歳未満含む):295名、20～30代:147名、40～50代:140名、60代以上:51名、無回答60名 <b>【来場回数】</b> 初めて:521名、2回:94名、3～5回:37名、6回以上:29名、不明・無記入:12名 <b>【地域】</b> 市内:173名、道内:54名、道外:414名、海外:19名、不明・無記入:33名 <b>【接客】</b> 大変良い:404名、良い:150名、ふつう:81名、やや悪い:10名、悪い:10名、無記入38名 接客満足度97% [(大変良い404+良い150)÷(全体693-ふつう81-無記入38)=0.97] <b>【施設を知ったきっかけ】</b> テレビ・ラジオ等:45名、新聞・観光誌:99名 紹介:167名、インターネット:154名、旅行会社:24名、その他211名 <b>【次回の来場】</b> 是非利用したい:305名、機会があれば:313名 利用しない:27名、無記入:48名 <b>【総合満足度】</b> 大満足:295名、満足:185名、ふつう:72名 やや不満:7名、不満:9名、無記入125件 総合満足度97% [(大満足295+満足185)÷(全体693-ふつう72-無記入125)=0.97]					
利用者からの意見・要望とその対応	<b>【要望】</b> ソフトクリーム、電子マネーが使えるようにしてほしい <b>【対応】</b> 電子マネーは従来より使用できたが、加えてQRコード決済も使用できるようにした。  <b>【その他意見】</b> ・体験型のコーナーがたくさんありとても楽しかったです！！ ・子供に冬のスポーツを学ばせるのに最適です！！ ・皆さん親切丁寧な対応ですね。 ・安全に注意がいきとどいていた。 ・清潔感があり、展示品が見やすかった。					

#### 4 収支状況

▽ 収支 (千円・税抜)				収支の説明については左記のとおり。来場者の増加に繋がるよう、魅力ある施設づくりを行いながら、収支の改善に努めていきたい。			
項目	R5計画	R5決算	差	A	B	C	D
収入	268,546	299,097	30,551	利用料金収入は計画及びR4決算を下回ったが、ミュージアムショップやカフェの収入が増えたため自主事業収入は大幅に上回り、赤字幅は改善されている。今後も安定した収入確保及び経費削減に努めることを期待する。			
指定管理業務収入	243,269	249,869	6,600				
指定管理費	173,748	184,265	10,517				
利用料金	59,666	57,697	▲ 1,969				
その他	9,855	7,907	▲ 1,948				
自主事業収入	25,277	49,228	23,951				
支出	290,607	312,661	22,054				
指定管理業務支出	244,037	260,481	16,444				
自主事業支出	46,570	52,180	5,610				
営業外収入	1,581	1,495	▲ 86				
営業外支出	0	39	39				
収入-支出	▲ 20,480	▲ 12,108	8,372				
利益還元	0	0	0				
法人税等	0	0	0				
純利益	▲ 20,480	▲ 12,108	8,372				
▽ 説明							
[収入について] ・指定管理収入は、水光熱費高騰分の補填により増加となった。 ・利用料金収入は、大型映像車の貸出などが少なく減少となった。 ・自主事業収入は、グッズショップやカフェの収入が増えたため増加となった。							
[支出について] ・指定管理業務支出については、水光熱費の高騰や、警備業務などの委託料が人件費高騰の影響もあり、増加となった。 ・自主事業支出については、グッズショップやカフェの収入増に伴い、売上原価が増えたことから、増加となった。							
[収支について] ・自主事業の収入増もあり、計画に比べて赤字幅は改善されたものの、12,108千円の赤字収支となった。							

<確認項目> ※評価項目ではありません。

▽ 安定経営能力の維持 引き続き管理運営業務の遂行のため、業務内容の見直し・適正人員の配置や経費節減に努め、安定した維持管理業務を行っている。		適	不適
▽ 個人情報保護条例、情報公開条例、行政手続条例及びオンブズマン条例への対応 各条例の規則に則り、全てに適切に対応した。 情報公開請求並びに、オンブズマン条例への対応はなかった。		適	不適

### Ⅲ 総合評価

【指定管理者の自己評価】	
総合評価	来年度以降の重点取組事項
<p>R5年度は、新型コロナウイルス感染症が感染症法上の5類に移行され、国内外問わず旅行需要が回復したためR4年度に比べて来場者が増加した。また、施設利用者数も増加し、札幌市や地域住民と連携しつつ施設運営をすることができた。</p> <p>ミュージアムについては、概ね計画に沿った活動ができた。ミュージアム内で開催した特別展示は当館初の野球を題材とした展示であり、道内で人気の高いスポーツを取り上げることで、当館の知名度の向上及び新たな来館者の獲得を試みた。また、常設展示の更新、出張ミュージアムや物品貸出による他施設でのイベント開催への協力により、来場者にオリンピック・パラリンピック及びウィンタースポーツへの関心と理解を深めていただけた取組ができた。オリンピック・パラリンピック教育に関しては計画どおり実施でき、計63校の学校の受入れを行い、各学校から好評を得た。札幌市・北海道オールオリンピアンズ・当館の3者で情報交換及び共有することが迅速な課題解決に繋がった。また、「JOA(日本オリンピック・アカデミー)セッション」においては、コロナが緩和しつつあったことから対面とオンラインのハイブリット開催となり、スポーツミュージアム同士の連携や各大学の教授、研究者、オリンピック関係者らと知識向上のための意見交換を密にし、様々な立場から見たオリンピック・パラリンピックのあり方を踏まえつつ、その価値や魅力を改めて見つめ直しことで、貴重品を扱う博物館資料の重要性を考える契機となった。</p> <p>自主事業としては、ビックラ！！スポフェス in 大倉山をはじめとする各種イベントを開催することでできたほか、新規イベントの大倉山冬花火は来場者から好評を得ることができ、施設の魅力向上と情報発信をすることができた。また、夏期は引き続きリフト夜間営業やシャトルバス「大倉山夜景号」運行など札幌の主要な夜景観光施設としての魅力を高めることができた。</p> <p>全体としてコロナ前の状況に戻りつつある中、社会情勢に合わせた対応を行い、ジャンプ競技の普及振興および競技力向上につながる施設づくりと札幌を代表する観光施設としての魅力づくりに努めることができた。</p>	<p>ジャンプ競技場としての運営については引き続き札幌スキー連盟や各スポーツ団体と緊密に連携しながら、専門知識と経験を有するスタッフによる整備業務に万全を期し、選手が日々の練習に取り組みやすい環境づくりを心掛けるとともに、常に安心安全な大会運営に寄与し、選手の競技力向上と競技の普及振興に貢献していきたい。</p> <p>ミュージアムについては、日本オリンピックミュージアム、長野オリンピックミュージアムだけでなく他の国内スポーツ関連博物館やオリンピック関連の資料を所蔵する博物館と交流を深め、日本独自のミュージアムネットワークを構築し、情報共有を積極的に行いながら、大規模国際大会誘致のための機運醸成に繋がる教育、研究、イベント等に取り組んで参ります。またオリンピック・パラリンピック教育についてはR6年度も引き続き学校の希望に寄り添う事業展開を行うため、オリンピアン・パラリンピアンと連携し授業の内容を充実させる他、オリンピアン・パラリンピアンとの関係性をより拡充させ、当館独自のイベント開催と各種展示会に発展させて参りたい。</p> <p>自主事業については3回目の開催となる「スポフェス」、2回目の開催となる「大倉山冬花火」を継続開催し、大倉山の秋・冬の定番イベントとして定着化を図っていきたい。ショップ・カフェについては、施設の満足度向上につながるよう、魅力的な商品展開を行って参りたい。</p> <p>令和6年度は、札幌市による大倉山ジャンプ競技場の改修工事計画が具体的に進捗する予定となっていることから、ジャンプ競技場としての機能だけでなく、観光施設としてより魅力的な大倉山となるよう札幌市と密に連携を図っていく。</p>

【所管局の評価】	
総合評価	改善指導・指示事項
<p>指定管理者としてのこれまでの実績と経験を活かし、計画に基づいた管理運営業務を行っている。</p> <p>ジャンプ競技場としての運営に関しては、FIS公認のジャンプ台として求められる高い水準での維持管理のほか、NTC競技別強化拠点施設として選手の積極的な受け入れを行うだけでなく、競技団体や利用者からの要望を踏まえた運営を実施するなど、競技力向上と競技人口の拡大に向けた環境整備に尽力したものと評価できる。</p> <p>ミュージアムについては、施設の魅力を伝え、オリンピックミュージアムネットワークの教育ワーキンググループにも参加し、オリンピック・パラリンピック教育に積極的に取り組んでいる。</p> <p>また、自主事業についても、各種スポーツの体験イベントや展望台リフトの夜間営業を継続して実施するなど、スポーツの普及振興に資する取り組みを行うとともに札幌の主要な夜景観光施設としての魅力発信を図り、観光資源としての施設活用にも力を入れている。</p> <p>今後においても、施設の設置目的である「ジャンプ競技の普及振興及び競技力の向上」及び「オリンピック・パラリンピックの理念を広く伝え、ウィンタースポーツの普及振興に寄与する」ことを念頭に施設の運営管理を行うとともに、本市を代表する観光施設として、更なる魅力PRに努めていただくよう期待する。</p>	<p>引き続き、展望台の夜間営業など、大倉山のジャンプ競技場と観光施設両方の魅力を活かした、観光客を含む利用者増に向けた取組を積極的に実施していただきたい。</p>

再委託業務内容	業務の場所
常駐警備業務(日中・夜間)	大倉山ジャンプ競技場
夜間巡回警備業務	宮の森ジャンプ競技場
機械警備業務	大倉山ジャンプ競技場、 札幌オリンピックミュージアム
定期清掃	大倉山ジャンプ競技場、 札幌オリンピックミュージアム
硝子定期清掃	大倉山ジャンプ競技場、 札幌オリンピックミュージアム
塵芥収集業務(産廃ごみ)	大倉山ジャンプ競技場、 宮の森ジャンプ競技場、 札幌オリンピックミュージアム
塵芥収集業務(資源ごみ)	大倉山ジャンプ競技場、 宮の森ジャンプ競技場、 札幌オリンピックミュージアム
消防設備点検業務	大倉山ジャンプ競技場、 宮の森ジャンプ競技場、 札幌オリンピックミュージアム
設備管理業務	大倉山ジャンプ競技場、 札幌オリンピックミュージアム
自動ドア点検業務	大倉山ジャンプ競技場
自動ドア点検業務	札幌オリンピックミュージアム
エレベーター点検業務	大倉山ジャンプ競技場、 札幌オリンピックミュージアム
エスカレーター点検業務	大倉山ジャンプ競技場
雪張ネット着脱業務	大倉山ジャンプ競技場、 宮の森ジャンプ競技場、 荒井山シャンツェ
大型映像車保守点検業務	大倉山ジャンプ競技場
大型映像車運行管理業務	大倉山ジャンプ競技場
スロープカー保守点検業務	荒井山シャンツェ
バイオトイレ保守点検業務	宮の森ジャンプ競技場 (スタートハウス、審判塔)
電光掲示盤保守点検業務	大倉山ジャンプ競技場、 宮の森ジャンプ競技場
ジャンプ台の基本造成整備業務	大倉山ジャンプ競技場、 宮の森ジャンプ競技場、 荒井山シャンツェ
クーリングシステム保守点検業務	大倉山ジャンプ競技場、 宮の森ジャンプ競技場
人工降雪機器保守点検業務	大倉山ジャンプ競技場
圧雪車(ブリノート他)保守点検業務	大倉山ジャンプ競技場、 宮の森ジャンプ競技場
除雪車(ホイローダー)保守点検業務	大倉山ジャンプ競技場
除排雪業務	大倉山ジャンプ競技場、 宮の森ジャンプ競技場、 札幌オリンピックミュージアム
特殊建築物定期報告業務	大倉山ジャンプ競技場、 宮の森ジャンプ競技場、 札幌オリンピックミュージアム
電気保守業務	大倉山ジャンプ競技場、 宮の森ジャンプ競技場、 荒井山シャンツェ
收藏品データシステム保守業務	札幌オリンピックミュージアム
ミュージアム映像保守点検業務	札幌オリンピックミュージアム
ミュージアム展示演出装置保守点検業務	札幌オリンピックミュージアム

# 令和5年度ミュージアム調査研究事業

別紙2

## 1 自主研修の場の提供

令和5年度内に小・中・高等学校・特別支援学校合わせて292校が来館した。  
(小学校140校、中学校75校、高等学校48校、特別支援学校25校、高専4校)

## 2 教育普及活動(特別展示会・イベント等)

① ボッチャ体験	参加人数	2,366
② シットスキー体験	参加人数	197
③ バイアスロン体験 in 大倉山	参加人数	240
④ 阿部館長によるバックヤードツアー	参加人数	45
⑤ オリンピック・デー記念特別講習会「ジュニア・ユース世代のためのスポーツパフォーマンス向上講習会」	参加人数	115
⑥ こども夏休みワークショップ・作って遊ぼう！スポーツ×工作	参加人数	99
⑦ 大倉山・宮の森ジャンプ競技場往復ノルディックウォーキング	参加人数	39
⑧ 札幌市資料館開館「50周年記念イベント」札幌市資料館50周年の歩みパネル展示(出張ミュージアム)	観覧人数	1,775
⑨ 野球日本代表侍ジャパン展～東京2020オリンピック・2023WOELD BASEBALL CLASSIC優勝への軌跡～(2023年度特別展示会)	観覧人数	14,715

## 3 常設展示

・2階パノラマシアター前スペースに東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会常設展示を設置。  
・2階特別展示室宮様スキー大会優勝者名簿を更新。  
・2階メダリスト用具コーナーにリレハンメル1994ノルディック複合団体出場選手3名及び長野1998スキージャンプラージヒル団体出場選手4名の手形を追加。  
・1階バイアスロン最新用具紹介コーナーを北京2022日本代表監督の着用ウェア、ヘッドバンド、グローブに更新。  
・2階ビジュアルヒストリー、パラリンピックコーナー壁面及び柱の記載内容を北京2022後の最新情報に更新。

## 4 校外学習

- ① 大学関係・・・6校  
(東海大学、北海道科学大学、北海道教育大学岩見沢校、帝京大学、札幌商工会議所附属専門学校、札幌国際大学)
- ② 高校関係・・・2校  
(東海大学附属高等学校、岩田高校)
- ③ 中学校関係・・・7校(オリンピック・パラリンピック教育1校、その他6校)  
(オリンピック・パラリンピック教育・・・札幌市立星友館中学校、その他・・・札幌市立清田中学校、北広島市立東部中学校、蘭越町立蘭越中学校等)
- ④ 小学校関係・・・66校(オリンピック・パラリンピック教育62校、その他3校)  
(オリンピック・パラリンピック教育・・・札幌市立西岡北小学校、札幌市立伏古北小学校、札幌市立二条小学校等、その他・・・札幌市立大倉山小学校、鹿追町立鹿追小学校、岩見沢市立第二小学校)
- ⑤ 特別支援学校関係・・・1校  
(北海道札幌視覚支援学校)
- ⑥ 実習等・・・0校  
(※実習の受け入れに関しては、学校側より問い合わせはあったものの、その後の申し込みがなかったため、今年度の実施校はありませんでした。)

## 5 収蔵品データベース化

展示物・収蔵品の調査データを登録中(令和5年度 268件・402点登録、登録累計 15494件・総数量40454点 )

## 6 収蔵品の収集・調査・研究・展示

・冬季オリンピック札幌大会関連資料の収集および調査・研究  
・寄贈された資料の調査・研究  
(オリンピック・パラリンピアン・・・能登直氏、伊藤有希氏等  
一般の方・・・畠田進氏、横山秀子氏、町田瑞樹氏等  
関連団体・・・平昌オリンピック・パラリンピックミュージアム、札幌スケート連盟、(公財)スペシャルオリンピックス日本等



令和5年度ジャンプ競技場等使用実績  
(令和5年4月1日～令和6年3月31日)

別紙 3

1 施設別一般来場者数(月別)

(単位:人)

区分	大倉山	宮の森	ミュージアム					
			総人数	大人	高齢者	団体	小中学校	免除
4月	13,539	984	6,491	3,671	347	865	1,291	317
5月	26,844	1,356	10,318	6,191	136	1,011	2,406	574
6月	28,339	871	12,484	7,619	194	1,832	2,164	675
7月	34,762	963	13,272	8,201	183	675	3,515	698
8月	50,491	1,394	16,432	9,972	365	687	4,773	635
9月	32,111	1,024	14,157	9,281	259	1,386	2,446	785
10月	29,501	892	11,768	7,365	196	2,036	1,673	498
11月	17,297	757	7,894	4,510	231	972	1,847	334
12月	14,968	720	5,910	2,737	99	616	2,102	356
1月	14,329	767	3,445	1,955	115	310	861	204
2月	19,334	551	5,869	3,493	120	1,190	755	311
3月	15,234	981	6,827	4,205	152	449	1,671	350
合計	296,749	11,260	114,867	69,200	2,397	12,029	25,504	5,737

2 札幌オリンピックミュージアム利用料金(使用料)関係

(1)観覧料 48,898,860 円

(2)多目的ホール

(単位:円)

利用日	イベント名等	減免割合	利用料金収入
-	-	-	0
小計			0

(3)ライブラリー

(単位:円)

利用日	イベント名等	減免割合	利用料金収入
-	-	-	0
小計			0

(4)エントランスホール

(単位:円)

利用日	イベント名等	減免割合	利用料金収入
-	-	-	0
小計			0

## (5)シアター

(単位:円)

利用日	イベント名等	減免割合	利用料金収入
10月11日	北海道オールオリンピアンズ視察時講演	-	2,200
11月4日	「オリンピック論」のフィールドワーク	-	1,100
1月9日	英語学校の発表会	-	1,100
3月17日	札幌市スポーツ協会	-	2,200
小計			6,600

札幌オリンピックミュージアム利用料金収入合計

48,905,460

## 3 大倉山ジャンプ競技場利用料金(使用料)関係

## (1)-1ジャンプ競技一般練習日

(単位:円)

利用月	日数	単価	利用料金収入	利用月	日数	単価	利用料金収入
4月	0	28,100	0	10月	8	28,100	224,800
5月	0	28,100	0	11月	0	28,100	0
6月	4	28,100	112,400	12月	0	28,100	0
7月	10	28,100	281,000	1月	11	28,100	309,100
8月	5	28,100	140,500	2月	4	28,100	112,400
9月	6	28,100	168,600	3月	1	28,100	28,100
小計				49			1,376,900

## (1)-2 ジャンプ競技一般練習日(自主事業利用分)

(単位:円)

利用月	日数	単価	利用料金収入	利用月	日数	単価	利用料金収入
6月	1	28,100	28,100	9月	1	28,100	28,100
7月	4	28,100	112,400	10月	1	28,100	28,100
8月	1	28,100	28,100	小計	8		224,800

## (2)公式練習日

(単位:円)

利用日	大会名	減免割合	利用料金収入
10月27日	日本スキー選手権大会ラージヒル兼 第65回NHK杯ジャンプ大会UHB杯ジャンプ大会公式練習	5割	14,050
1月7日	第66回HBCカップジャンプ競技大会	5割	14,050
1月12日	FIS女子ジャンプワールドカップ2024札幌大会	5割	14,050
2月2日	第35回TVh杯ジャンプ大会	5割	14,050
2月11日	第65回雪印メグミルク杯ジャンプ大会	5割	14,050
2月16日	FISジャンプワールドカップ2024札幌大会	5割	14,050
3月2日	第95回宮様スキー大会国際大会国際競技会ラージヒル	10割	0
3月15日	第25回伊藤杯シーズンファイナル大倉山ナイタージャンプ大会	5割	14,050
小計			98,350

## (3)大会日

(単位:円)

利用日	大会名	減免割合	利用料金収入
8月5日	第24回札幌市長杯大倉山サマージャンプ大会	10割	0
8月6日	大成建設チャレンジカップ2023大倉山サマージャンプ大会	5割	45,850
10月28日	第36回UHB杯ジャンプ大会	5割	45,850
10月29日	第102回全日本スキー選手権大会ラージヒル 兼第65回NHK杯ジャンプ大会	5割	45,850
1月8日	第66回HBCカップジャンプ競技大会	5割	45,850
1月13日・14日	FIS女子ジャンプワールドカップ2024札幌大会	5割	91,700
1月20日	FISジャンプコンチネンタルカップ2024 兼第51回HTBカップ国際スキージャンプ競技大会	5割	45,850
1月21日	FISジャンプコンチネンタルカップ2024 兼第63回STVカップ国際スキージャンプ競技大会	5割	45,850
2月3日	第35回TVh杯ジャンプ大会	5割	45,850
2月12日	第65回雪印メグミルク杯ジャンプ大会	5割	45,850
2月17日・18日	FISジャンプワールドカップ2024札幌大会	5割	91,700
3月3日	第95回宮様スキー大会国際大会国際競技会ラージヒル	10割	0
3月16日	第25回伊藤杯シーズンファイナル大倉山ナイタージャンプ大会	5割	45,850
小計			596,050

## (4)-1イベント等

(単位:円)

利用日	イベント名等	減免割合	利用料金収入
5月20日	REDBULL400	—	216,900
9月6日	Asia Peering Forum 2023 ソーシャルイベント	—	216,900
9月11日・12日	ATWS2023オープニングレセプション	—	574,740
10月7日・8日・9日	ビックラ!! スポフェスin大倉山(自主事業)	10割	0
12月9日	大倉山冬花火(自主事業)	10割	0
小計			1,008,540

## (4)-2イベント等 (自主事業利用分)

(単位:円)

利用日	イベント名等	減免割合	利用料金収入
—	—	—	0
小計			0

## (5)運営本部(会議室)

(単位:円)

利用日	イベント名等	減免割合	利用料金収入
4月5日	昼食利用	—	910
4月23日	荒井山町内会	—	2,730
5月10日	ATWS2023オーフニングレセプション説明会	—	1,820
5月12日	昼食利用	—	910
5月12日	テレビ番組「ジンギス談」撮影控室	—	910
5月14日	町内会総会(荒井山町内会)	—	1,820
5月18日	昼食利用	—	910
6月1日	スキー部HP制作写真撮影	—	2,730
6月8日	インタビュー利用	—	910
6月18日	ニコルソメット宮の森管理組合総会	—	3,640
7月9日	北日本警備 防災訓練座学	—	7,280
7月19日	札幌市立本郷小学校ひまわり学級昼食・休憩利用	—	910
8月6日	葛西紀明選手へのインタビュー撮影	—	910
8月17日	船木和喜選手へのインタビュー撮影	—	2,730
8月20日	北日本警備 防災訓練座学	—	7,280
9月6日	高梨沙羅選手と高校生のディスカッション	—	2,730
9月7日	昼食利用	—	910
9月11日	FISワールドカップ打ち合わせ会議	—	9,100
9月28日	昼食利用	—	3,640
9月29日	昼食利用	—	910
10月4日	合同修学旅行 昼食会場	—	910
10月16日	ニュース報道(みんテレ)撮影利用	—	910
10月21日	SAJ 第4回ジャンプ合宿	—	9,370
10月20日	ニュース報道(みんテレ)撮影利用	—	2,730
10月22日	荒井山町内会 役員会	—	1,820
10月30日	札幌市立新川小学校 昼食利用	—	910
11月9日	旭川市立愛宕中学校2学年 昼食会場	—	1,820
11月18日	児童デイサービス まなべる 昼食会場	—	910
12月2日	昼食利用	—	910
12月8日	昼食利用	—	910
12月11日	クラフト製作	—	2,730
12月16日	昼食利用	—	910
12月26日	取材利用	—	3,910
12月27日	昼食利用	—	910
2月5日	HOKKAIDO LOVE!LINE公式アカウント配信記事制作	—	1,820
2月8日	葛西紀明氏インタビュー	—	1,820
2月8日	葛西紀明氏インタビュー	—	3,910
2月15日	葛西紀明氏インタビュー	—	2,730
2月15日	会議利用	—	1,820
3月17日	会議利用	—	2,730

3月17日	荒井山町内会役員班長会	—	1,820
3月31日	札幌ジャンプ少年団卒団式	—	5,460
3月31日	NTC使用分	—	66,430
小計			171,890

(6) 観覧フィールド

(単位:円)

利用日	イベント名等	減免割合	利用料金収入
—	—	—	0
小計			0

(7) エントランス広場ステージ

(単位:円)

利用日	イベント名等	減免割合	利用料金収入
—	—	—	0
小計			0

(8) テレビ映像中継装置

(単位:円)

利用日	イベント名等	減免割合	利用料金収入
10月27日・28日	第36回UHB杯ジャンプ大会	—	197,000
10月29日	第102回全日本スキー選手権大会ラージヒル 兼第65回NHK杯ジャンプ大会	—	197,000
1月8日	第66回HBCカップジャンプ競技大会	—	197,000
1月11日・12日・13日	FIS女子ジャンプワールドカップ2024札幌大会(NHK)	—	197,000
1月14日	FIS女子ジャンプワールドカップ2024札幌大会(STV)	—	197,000
1月20日	FISジャンプコンチネンタルカップ2024 兼第51回HTBカップ国際スキージャンプ競技大会	—	197,000
1月21日	FISジャンプコンチネンタルカップ2024 兼第63回STVカップ国際スキージャンプ競技大会	—	197,000
2月3日	第35回TVh杯ジャンプ大会	—	197,000
2月12日	第65回雪印メグミルク杯ジャンプ大会	—	197,000
2月15日・16日・17日	FISジャンプワールドカップ2024札幌大会(NHK)	—	197,000
2月18日	FISジャンプワールドカップ2024札幌大会(STV)	—	197,000
小計			2,167,000

大倉山ジャンプ競技場利用料金収入合計	5,643,530
--------------------	-----------



#### 4 宮の森ジャンプ競技場利用料金(使用料)関係

##### (1)ジャンプ競技一般練習日

(単位:円)

利用月	日数	単価	利用料金収入	利用月	日数	単価	利用料金収入
4月	0	28,100	0	10月	24	28,100	674,400
5月	0	28,100	0	11月	9	28,100	252,900
6月	30	28,100	843,000	12月	0	28,100	0
7月	25	28,100	702,500	1月	6	28,100	168,600
8月	20	28,100	562,000	2月	10	28,100	281,000
9月	26	28,100	730,600	3月	2	28,100	56,200
				小計	152		4,271,200

##### (2)公式練習日

(単位:円)

利用日	大会名	減免割合	利用料金収入
10月25日	第102回全日本スキー選手権ノーマルヒル 公式練習	5割	14,050
2月29日	第95回宮様スキー大会国際競技会ノーマルヒル	10割	0
3月4日	伊藤杯ノルディックコンバインド競技大会2024	5割	14,050
小計			28,100

##### (3)大会日

(単位:円)

利用日	大会名	減免割合	利用料金収入
10月26日	第102回全日本スキー選手権ノーマルヒル	5割	45,850
2月27日	雪印メグミルクカツゲンカップ2024ジャンプ大会	5割	45,850
2月28日	第52回札幌オリンピック記念スキージャンプ競技大会	10割	0
3月5日	伊藤杯ノルディックコンバインド競技大会2024	5割	45,850
3月6日	第102回全日本スキー選手権大会 ノルディックコンバインド	5割	45,850
小計			183,400

##### (4)イベント等

(単位:円)

利用日	イベント名等	減免割合	利用料金収入
-	-	-	0
小計			0

宮の森ジャンプ競技場利用料金収入合計	4,482,700
--------------------	-----------

## 5 荒井山シャンツェ利用状況

### (1) ジャンプ競技一般練習日

利用月	日数	人数	利用月	日数	人数
4月	2	25	10月	17	173
5月	24	353	11月	3	47
6月	11	276	12月	0	0
7月	29	307	1月	13	158
8月	26	141	2月	5	166
9月	26	208	3月	2	32
			小計	158	1,886

## 6 撮影利用料金(使用料)関係

(単位:円)

利用日	撮影内容	場所	内容	使用者等	減免割合	利用料金収入
4月5日	写真	大倉山	楽天トラベルweb内特集での記事制作	楽天トラベル委託ライター	-	1,500
4月9日	テレビ	大倉山	テレビ番組「サンドどっちマンツアーズ」撮影	㈱ポジティブォ	-	17,430
4月22日	写真	大倉山	ウェディングフォト撮影	伴家・樺澤家両家	-	1,500
5月12日	テレビ	大倉山	テレビ番組「ジンギス談」撮影	HBC 栗山 亘	-	15,000
5月15日	テレビ	大倉山	テレビ番組「夜のブラキタ」撮影控室	HBC 夜のブラキタ	-	15,000
5月20日	テレビ	大倉山	REDBULL400	レッドブルジャパン	-	15,000
5月20日	写真	大倉山	REDBULL400	㈱フルハウス 山田 陽平	-	1,500
6月1日	写真	大倉山	スキー部HP制作写真撮影	東京美装興業	-	1,500
6月1日・2日	テレビ	大倉山	プロモーション撮影	阪急交通社	-	30,000
6月2日	テレビ	大倉山	HP・SNS他使用素材撮影	雪印メグミルク	-	15,000
6月19日・20日	テレビ	大倉山	雪印HP、SNS他素材撮影	雪印メグミルクスキー部	-	30,000
6月28日	写真	宮の森	CHINTAI写真撮影	朝内大助	-	1,500
7月2日	テレビ	宮の森	テレビ北海道「夢へチャレンジ」森飯晟選手 の取材	株式会社クロステレビビジョ ン	-	15,000
8月1日	テレビ	大倉山	狸COMIICHIで流す札幌市の観光スポット 撮影	株式会社キャドセンター	-	15,000
8月4日	テレビ	大倉山	よじごじDays撮影	株式会社ホールマン	-	15,000
8月5日	写真	大倉山	藤田慎之介・高橋圭介撮影	朝内大助	-	1,500
8月6日	テレビ	大倉山	葛西紀明選手へのインタビュー撮影	株式会社ザ・ワークス	-	15,000
8月11日	テレビ	宮の森	テレビ北海道「夢へチャレンジ」岡部凜太 郎選手の取材	株式会社クロステレビビジョ ン	-	15,000
8月11日	テレビ	大倉山	BSフジ「JUDO」	株式会社モチベーション	-	15,000
8月17日	テレビ	大倉山	船木和喜選手へのインタビュー撮影	株式会社ザ・ワークス	-	15,000
9月12日	テレビ	大倉山	ATWS2023オープニングセレモニー撮影	有限会社ズノーネットワーク ス	-	20,850
9月18日	写真	大倉山	東海大学撮影	朝内大助	-	1,500
9月22日	テレビ	大倉山	SNS用動画撮影	㈱新菱 経営企画本部 ヘル スケア事業推進室	-	18,900

10月3日	テレビ	大倉山	テレビ番組『ハービーが架けた虹の撮影』	Hitoshi-Maru	－	15,000
10月3日	テレビ	大倉山	ダンス作品の撮影	合同会社KING PRO.	－	18,900
10月11日	テレビ	宮の森	ポスター用の写真・動画撮影	雪印メグミルク	－	15,000
10月18日	写真	大倉山	NHK杯ジャンプ取材	NHK札幌放送局	－	1,500
10月27・28日	テレビ	大倉山	第36回UHB杯ジャンプ大会	北海道文化放送	－	30,000
10月27・29日	テレビ	大倉山	第102回全日本スキー選手権大会ラージヒル 兼第65回NHK杯ジャンプ大会	NHK札幌放送局	－	35,850
10月28日	写真	大倉山	全日本スキー連盟オフィシャルウェア撮影	ミズノ(株)	－	1,500
10月30日	写真	大倉山	アルインコ(株) 社内報の撮影	株式会社OSエ芸社	－	1,500
11月29日	テレビ	大倉山	ナニコレ珍百景	テレビ朝日	－	15,000
12月14日	テレビ	大倉山	写真集の撮影	玄光社	－	15,000
12月15日	写真	大倉山	Visit Sapporo	電通北海道	－	1,500
1月8日	テレビ	大倉山	第66回HBCカップジャンプ競技大会	北海道放送株式会社	－	15,000
1月10日	テレビ	大倉山	HTBカップジャンプ大会に向けた取材	北海道テレビ放送	－	15,000
1月12日・13日	テレビ	大倉山	FIS女子ジャンプ「ワールドカップ」2024札幌大会	NHK札幌放送局	－	49,440
1月14日	テレビ	大倉山	FIS女子ジャンプ「ワールドカップ」2024札幌大会	札幌テレビ放送	－	15,000
1月20日	テレビ	大倉山	FISジャンプコンチネンタルカップ2024 兼 第51回HTBカップ国際スキージャンプ競技大会	北海道テレビ放送	－	17,430
1月21日	テレビ	大倉山	FISジャンプコンチネンタルカップ2024 兼 第63回STVカップ国際スキージャンプ競技大会	札幌テレビ放送	－	15,000
1月27日	写真	大倉山	読売新聞企画連載「あれから」の写真撮影	読売新聞東京本社社会部	－	1,500
2月2日・3日	テレビ	大倉山	第35回TVh杯ジャンプ大会	テレビ北海道	－	30,000
2月5日	写真	大倉山	HOKKAIDO LOVE!LINE公式アカウント配 信記事制作	株式会社イースト・デイリー	－	1,500

2月8日	写真	大倉山	葛西紀明氏インタビュー	講談社フライデー	-	1,500
2月8日	テレビ	大倉山	葛西紀明氏インタビュー撮影	TBS	-	17,430
2月11日	テレビ	大倉山	自社HP、SNS他使用素材の撮影	雪印メグミルクスキー部	-	15,000
2月12日	テレビ	大倉山	第65回雪印メグミルク杯ジャンプ	北海道放送株式会社	-	15,000
2月16日・17日	テレビ	大倉山	FISジャンプ「ワールドカップ」2024札幌大会	NHK札幌放送局	-	39,720
2月18日	テレビ	大倉山	FISジャンプ「ワールドカップ」2024札幌大会	札幌テレビ放送	-	15,000
2月20日	写真	大倉山	ホテルエミオン札幌小冊子撮影	スターツ出版株式会社	-	1,500
3月7日	テレビ	大倉山	シティプロモーション動画制作	札幌市東京事務所	10割	0
3月17日	テレビ	大倉山	冬季オリンピックの紹介	株式会社日企	-	15,000
計						723,450

撮影利用料金収入合計			723,450
内 訳	大倉山ジャンプ競技場	映画	0
		テレビ	655,950
		写真	21,000
		小計	676,950
	宮の森ジャンプ競技場	映画	0
		テレビ	45,000
		写真	1,500
		小計	46,500
	札幌オリンピックミュージアム	映画	0
		テレビ	0
		写真	0
		小計	0



## 7 大型映像車利用料金(使用料)関係

(単位:円)

利用日	行 事 名	減免割合	利用料金収入
6月2日・3日	石狩川水系空知川総合水防演習	-	502,290
6月4日	第43回千歳JAL国際マラソン	-	403,600
7月8日	第51回全道消防救助技術訓練指導会	-	196,800
7月14日	むらもと祭	-	213,690
7月15日	札幌市民スポーツ大会(陸上競技)	10割	22,440
8月5日・6日	第24回札幌市長杯大倉山サマージャンプ大会 /大成建設チャレンジカップ2023大倉山サマージャンプ大会	10割	11,880
8月24日・25日	第51回全国消防救助技術大会	-	405,190
8月26日	令和5年度 恵庭市総合防災訓練	-	180,358
8月27日	北海道マラソン2023	-	292,590
9月5日・6日	令和5年度札幌市総合防災訓練	-	348,880
9月9日	令和5年度千歳市総合防災訓練	-	229,420
9月16日・17日	No Maps SNOW SMASH	-	516,880
9月30日 10月1日	第48回札幌マラソン	10割	41,580
10月28日	第36回UHB杯ジャンプ大会	-	43,140
10月29日	第102回全日本スキー選手権大会ラージヒル 兼第65回NHK杯ジャンプ大会	-	49,340
1月8日	第66回HBCカップジャンプ競技大会	-	45,000
1月13日・14日	FIS女子ジャンプワールドカップ2024札幌大会	-	72,770
1月20日	FISジャンプコンチネンタルカップ2024 兼 第51回HTBカップ国際スキージャンプ競技大会	-	51,200
1月21日	FISジャンプコンチネンタルカップ2024 兼 第63回STVカップ国際スキージャンプ競技大会	-	35,830
2月3日	第35回TVh杯ジャンプ大会	-	33,970
2月4日	第44回札幌国際スキーマラソン大会	-	22,440
2月11日・12日	第65回雪印メグミルク杯ジャンプ	-	107,230
2月17日・18日	FISジャンプワールドカップ2023札幌大会	-	78,970
3月3日	第95回宮様スキー大会国際大会国際競技会ラージヒル	10割	2,970
3月16日	第25回伊藤杯シーズンファイナル大倉山ナイタージャンプ大会	-	27,770

大型映像車利用料金収入合計			3,936,228
内 訳	場内(ジャンプ)		560,070
	場内(その他)		0
	競技場以外		3,376,158

## 令和5年度 集客イベント実績

別紙 4

### ① シットスキー体験

公益財団法人札幌市スポーツ協会の協力の下、ローラーシッティングスキーで床の上を滑り、冬季パラリンピックに採用されているパラクロスカントリーの疑似体験を開催した。

1. 内容 シットスキー用ローラーを装着したローラーシッティングスキーで床の上を滑る体験
2. 期間 令和5年4月29日(土)・30日(日)
3. 体験者数 (1)令和5年4月29日(土) 91名 ※体験コーナーにおける体験者数カウント実績記録による  
(2)令和5年4月30日(日) 106名 ※体験コーナーにおける体験者数カウント実績記録による  
計197名

### ② バイアスロン体験in大倉山

日本バイアスロン連盟の協力の下、冬季オリンピック採用種目であるバイアスロンの疑似体験をすることができるイベントを開催した。オリンピック出場経験のあるバイアスロン日本代表選手を含む5名が体験者にレクチャーした。

1. 内容 専用シミュレーターによるバイアスロン射撃体験
2. 期間 令和5年5月5日(金・祝)
3. 体験者数 240名 ※体験コーナーにおける体験者数カウント実績記録による

### ③ 阿部館長によるバックヤードツアー

スキージャンプ競技の裏側の舞台を知ることができるツアー。当館館長であり、1994年リレハンメル五輪・ノルディック複合団体金メダリストの阿部雅司館長が案内し、本部棟やスタートゲートなど普段入ることのできない場所を巡る。

1. 内容 阿部館長によるスキージャンプ競技のバックヤードを巡るツアー
2. 期間 令和5年5月6日(土)
3. 参加者数 45名 ※ツアー参加申込者の人数実績による

### ④ Red Bull 400 2023

最大斜度37度の大倉山ジャンプ台をコースとし、世界10か国以上で開催される、最も過酷なラージヒル逆走400mレース。個人フルディスタンス400m、4人で100mずつを走るリレーが行われた。当日はDJブースを積んだイベントカーや、絶品料理が堪能できるキッチンカーが出展した。

1. 内容 大倉山ジャンプ台を駆け上がるプロアマ問わず参加できる400mのタイムレース
2. 期間 令和5年5月20日(土)
3. 参加者数 1,444名 ※競技参加者の実績による

### ⑤ オリンピック・デー記念特別講習会「ジュニア・ユース世代のためのスポーツパフォーマンス向上講習会」

1894年6月23日のIOC創立を記念して世界中で行われる「オリンピック・デー」と題するイベントの1つとして、ジュニア・ユース世代のアスリートのコンディション向上に関する専門知識を有する講師2名を招き、競技時のパフォーマンス向上とコンディショニングの知識を学ぶことができる講習会を実施。

1. 内容 「メンタルトレーニング」と「スポーツ栄養学」をテーマにした講習会
2. 期間 令和5年6月25日(日)
3. 参加者数 (1)シアターでの対面聴講 41名 ※参加申込者の人数実績による  
(2)Youtube配信視聴 74名 ※YouTube視聴回数の実績による  
計115名

### ⑥ 展望台リフト特別夜間営業

日本新三大夜景に認定されている札幌の夜景を大倉山山頂からも楽しんでもらうべく、期間限定で展望台リフトの特別夜間営業を実施した。

1. 内容 大倉山展望台リフト特別夜間営業
2. 期間 令和5年7月1日(土)～令和5年9月30日(日) 18:00～21:00
3. 利用者数 6,826名 ※有料人員(チケット販売枚数)の実績による

---

#### ⑦ こども夏休みワークショップ・作って遊ぼう！スポーツ×工作

北海道科学大学の協力の下、段ボールや電池などを利用した「おじゃまカーリング」、「スピード!!ボブスレー」、「うごく！わくわく スキージャンプ」、「手作り☆パラダイス 回る！フィギュアスケート」、「かげで作ろう！オリンピックのせかい」「みんなでテーブルアイスホッケー大会」の6種類の工作・体験イベントを実施した。

1. 内容 小学生を対象にした夏休み工作ワークショップ
2. 期間 令和5年8月11日(木)
3. 参加者数 99名 ※参加者数の実績による

---

#### ⑧ ビックラ！！スポフェスin大倉山

スキージャンプ・サッカー・バスケットボールなどの各種体験教室のほか、AR技術を利用した新しいボルダリング様々なスポーツの体験イベントを実施した。イベントに伴い、キッチンカーやヌーベルプースのイベント限定屋台も出

1. 内容 スポーツ体験教室、ARスポーツ体験、スタンプラリー等
2. 期間 令和5年10月7日(土)・8日(日)・9日(月)
3. 来場人数 3,646人 ※スタンプラリー用紙配布枚数より算出

---

#### ⑨ 大倉山冬花火

音楽と連動して冬空に幻想的なエンターテインメントを繰り広げる花火イベント。  
花火開始前は、札幌オリンピックミュージアムANNEXで北海道を拠点に活躍するNORDのメンバーとダンス&ボーカル&DJユニット「ambitious」のステージイベントが開催された。

1. 内容 音楽に合わせて打ち上げを行う花火大会
2. 期間 令和5年12月9日(土)
3. 観覧者数 1,163名 ※チケット販売実績による

---

#### ⑩ 野球日本代表 侍ジャパン展～東京2020 オリンピック・2023 WORLD BASEBALL CLASSIC 優勝への軌跡～

東京2020オリンピック、2023ワールド・ベースボール・クラシックで日本中を興奮の渦に巻き込んだ侍ジャパンの功績を称える特別展示会を開催。大会で選手が実際に使用した用具やウェアなど激闘を制した貴重な品の他、ウイニングボール、東京オリンピックの観戦チケット、当時の新聞記事も併せて展示した。

1. 内容 東京2020オリンピック及び2023ワールド・ベースボール・クラシックで優勝した侍ジャパンの功績をたたえる特別展示会
2. 期間 令和6年1月15日(月)～3月31日(日)
3. 観覧者数 14,715名 ※有料人員(チケット販売枚数)の実績による